

対称式とその応用

1 対称式とは

対称式とは、どの2つの変数を交換しても変わらない多項式のことを対称式と言う。例えば、

$$x^2 + xy + y^2 \quad (1)$$

の様に2つの変数 x, y を入れ替えても全く同じ多項式になるもののことである。これらは全て**基本対称式のみで表現することが可能**である。基本対称式とは、和 $x + y$ と積 xy のことである。式 (1) では、

$$x^2 + xy + y^2 = (x + y)^2 - xy$$

の様に書き換える事ができる。

2 対称式の応用例

例題

$x + y = 3, xy = 2$ の時、 $x^2 + y^2, x^n + y^n$ を求めなさい。

$$\begin{aligned} x^2 + y^2 &= (x + y)^2 - 2xy \\ &= 3^2 - 2 \times 2 \\ &= 5 \end{aligned}$$

解と係数の関係より、 x, y は $t^2 - 3t + 2 = 0$ を満たすことから、

$$\begin{cases} x^2 - 3x + 2 = 0 \\ y^2 - 3y + 2 = 0 \end{cases} \iff \begin{cases} x^{n+2} - 3x^{n+1} + 2x^n = 0 \\ y^{n+2} - 3y^{n+1} + 2y^n = 0 \end{cases} \quad (\because x \neq 0 \wedge y \neq 0)$$

この式の両辺をそれぞれ足すと、

$$(x^{n+2} + y^{n+2}) - 3(x^{n+1} + y^{n+1}) + 2(x^n + y^n) = 0$$

のようになる。ここで、 $x^n + y^n = S_n$ と置くと、

$$\begin{aligned} S_{n+2} - 3S_{n+1} + 2S_n &= 0 \\ \iff S_{n+2} &= 3S_{n+1} - 2S_n^1 \end{aligned} \quad (2)$$

¹隣接三項間漸化式

解法 1.

$$\begin{aligned}
 (2) &\iff \begin{cases} S_{n+2} - 2S_{n+1} = S_{n+1} - 2S_n \\ S_{n+2} - S_{n+1} = 2(S_{n+1} - S_n) \end{cases} \\
 &\iff \begin{cases} S_{n+1} - 2S_n = 1^{n-1} \cdot (S_2 - 2S_1) = 1 \\ S_{n+1} - S_n = 2^{n-1} \cdot (S_2 - S_1) = 2^n \end{cases} \quad (3)
 \end{aligned}$$

以上から,

$$S_{n+1} - 2S_n = -1 \quad (4a)$$

$$S_{n+1} - S_n = 2^n \quad (4b)$$

式 (4b) - 式 (4a) をすることにより,

$$S_n = 2^n + 1$$

解法 2. 式 (4a) より,

$$\begin{aligned}
 S_{n+1} - 2S_n &= -1 \\
 \iff S_{n+1} - 1 &= 2(S_n - 1) \\
 \iff S_n - 1 &= 2^{n-1} \cdot (S_1 - 1) \\
 \iff S_n &= 2^n + 1
 \end{aligned}$$